

当社の現況と今後の展望

フジ日本株式会社
東証スタンダード市場（証券コード：2114）
2026.6.23

目次

1

事業内容

2

2026年3月期決算概要

3

2027年3月期業績予想

4

配当金政策

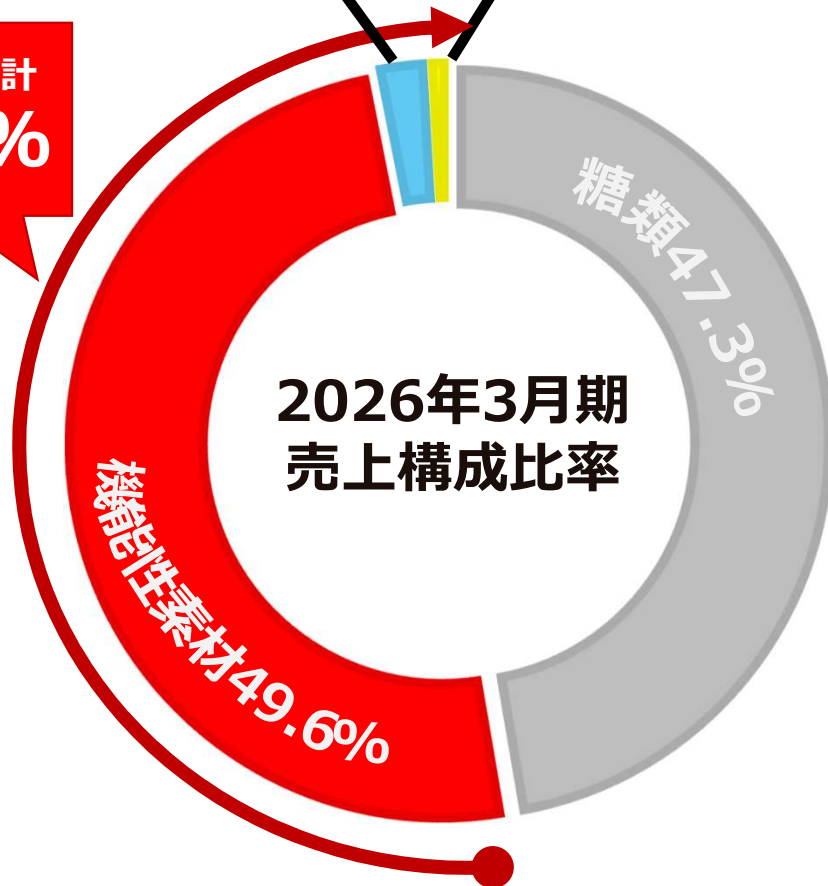
5

トピックス

1 事業内容

不動産2.2% その他0.9%

非砂糖セグ計
52.7%



各セグメントの主要製品及びサービス

- **糖類**
 - ・ 精製糖、液糖、砂糖関連製品等
- **機能性素材**
 - ・ 食品添加物、機能性食品素材、天然添加物素材等
- **不動産**
 - ・ 不動産賃貸等



2 2026年3月期決算概要 ～サマリー～

全社サマリー

売上高

糖類はインバウンドや季節需要が牽引し、機能性素材でも健康市場向けや東南アジアを中心として販売が伸長し、売上に大きく貢献しました。

前年度比 +0.8%

28,443百万円

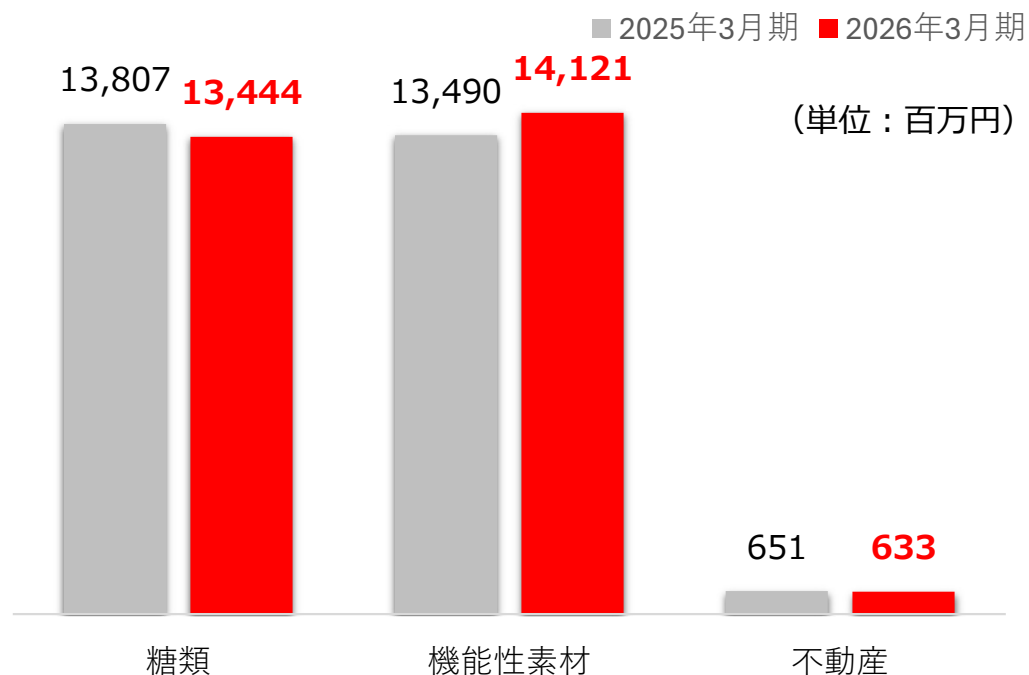
営業利益

エネルギーや物流コストなどの上昇が続く中、イヌリンの販売増加と、連結子会社ユニテックフーズも好調な業績となり増益となりました。

前年度比 +9.9%

3,554百万円

各セグメント売上高



2

2026年3月期決算概要 ～連結損益計算書(P/L)～

(単位：百万円)	2025年 3月期	2026年3月期					前期比
	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	
売上高	28,209	7,107	7,073	7,366	6,897	28,443	+0.8%
営業利益	3,232	756	1,091	1,112	595	3,554	+9.9%
経常利益	3,651	879	1,093	1,161	640	3,773	+3.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,845	613	909	1,106	592	3,220	+13.2%

2026年3月期決算概要 ～連結キャッシュ・フロー計算書～

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	前期増減比
営業活動によるCF	3,323	3,194	▲3.9%
投資活動によるCF	▲1,546	▲1,720	+11.2%
財務活動によるCF	▲376	▲962	+155.5%
現金及び現金同等物の期首残高	5,274	6,644	-
現金及び現金同等物の期末残高	6,644	7,243	+9.0%

2

2026年3月期決算概要 ～連結貸借対照表(B/S)～

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前期比	主な増減理由
流動資産	17,696	19,317	+1,621	現金及び預金の増加
固定資産	16,065	19,414	+3,349	Fuji Nihon Thai Inurin社の製造能力拡大のための建設仮勘定 投資有価証券の時価上昇
資産合計	33,761	38,732	+4,971	
流動負債	5,795	5,528	▲267	短期借入金の減少
固定負債	4,092	5,260	+1,168	繰延税金負債及び成長投資のための長期借入金増加
負債合計	9,887	10,788	+901	
株主資本	21,299	23,647	+2,348	親会社株主に帰属する当期純利益の計上
その他包括利益累計額	2,528	4,253	+1,725	有価証券評価差額の増加
非支配株主持分	46	43	▲3	
純資産合計	23,874	27,944	+4,070	
負債純資産合計	33,761	38,732	+4,971	



3

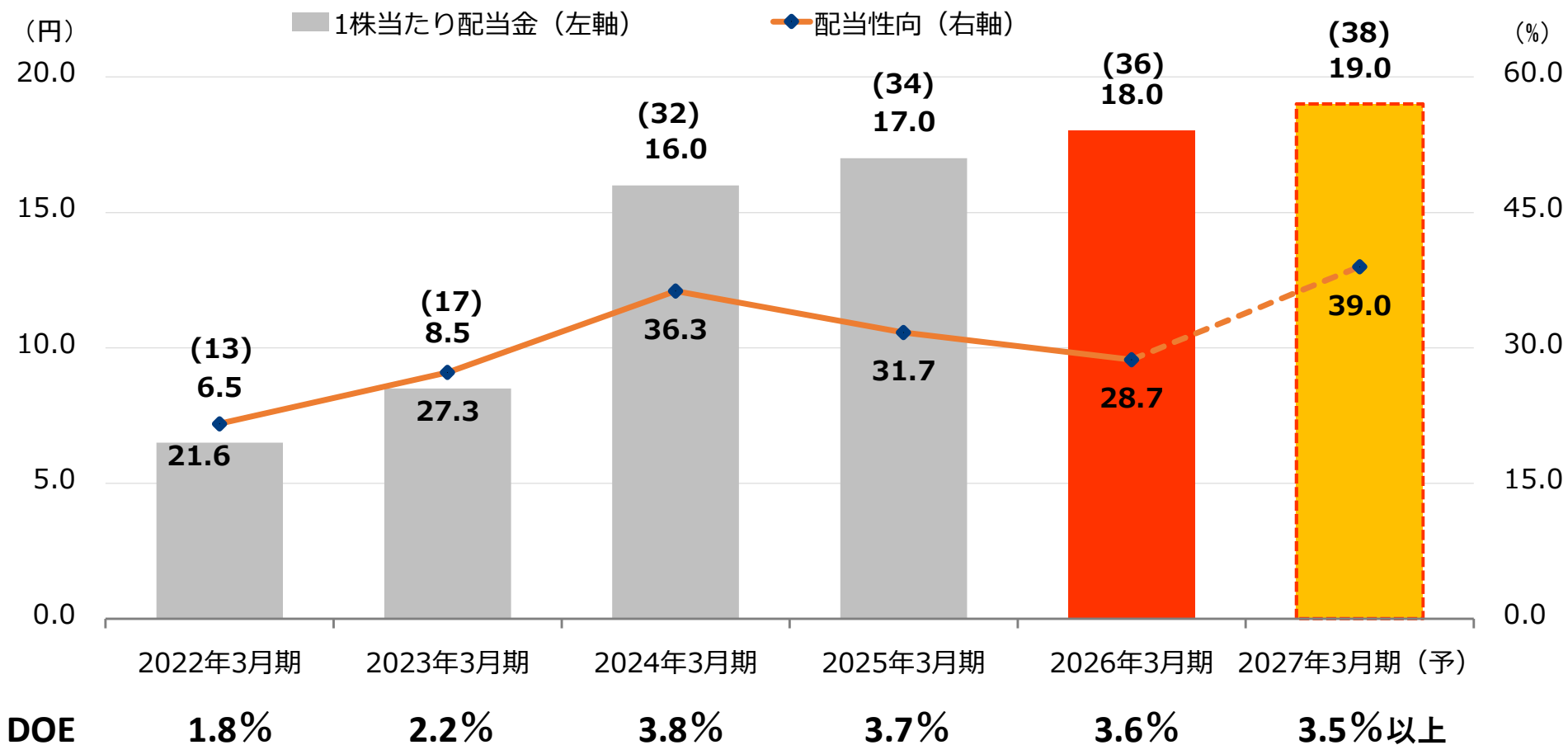
2027年3月期業績予想

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 (予想)	2026年3月期比
売上高	28,209	28,443	29,700	+4.4%
営業利益	3,232	3,554	3,300	▲7.1%
経常利益	3,651	3,773	3,500	▲7.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,845	3,220	2,500	▲22.4%

4

配当金政策



5

トピックス ～中期経営計画「CHANGE 2028」～

中期ビジョン

CHANGE - 新たな領域への扉を開けてアジア、そして世界へ -

定量目標

経常利益：**36億円**以上 ROE：**9.0%**以上

重点テーマ

1. 東南アジアへの事業拡大
2. フードサイエンス領域の事業創出
3. M&Aを軸とした成長投資
4. ビジョン実現に向けた強い組織づくり
5. IRの強化と株主還元

4つのコアバリュー

精糖：基礎原料のサプライチェーンの一翼を担い、安定供給に貢献する
 イヌリン：さとうきび由来の食物繊維と独自のソリューションで、お客様のアイデア実現のお手伝いをする
 フードサイエンス：長年培った独自のノウハウで、食品加工の新たな一歩をお手伝いする
 キープフラワー：消費者に寄り添った商品づくりで、花と人とが長く過ごせる時間を提供する

投資戦略

投融資：**180億円** DOE：**3.5%**以上

非財務戦略

E：予測される気候変動のリスクを緩和し事業機会を獲得する
 S：人間尊重を基本とした企業文化の形成
 G：実効性のある高いレベルのコーポレートガバナンス

経営戦略

会社の発展と共に社員が成長する企業文化の形成

1. 組織改革
2. 人的資本経営
3. グループ経営推進
4. DX推進

5

トピックス ～塩水港精糖とのアライアンス契約締結～



～精糖事業の基盤強化と、機能性素材事業のシナジー追及～

【アライアンス骨子】

製造

共同生産工場における効率化及び設備更新において引き続き協力し、製造品質の向上と製造コストの低減を推進

購買

原料糖の相場及び生産地情報の共有、共同配船、共同購買などの施策を進め、購買コストの削減を推進

ロジスティクス

製品倉庫の共同運用、共同配送等、効率的ロジスティクスを実現することによりコストダウン・CO2削減等を推進

研究開発・商品開発

新素材の研究開発などの情報交換、小売商品の商品開発において可能な範囲内での情報開示及び商品の共同開発を検討

5

トピックス ～イヌリン増産への設備投資の決定～



- (1) 会社名
Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.
- (2) 所在地
15 Moo 17 Saeng Chuto Road, Tapha,
Banpong, Ratchaburi 70110, Thailand
- (3) 投資内容
建屋拡張、製造設備・タンク類・システムの増設
- (4) 投資目的
機能性素材「イヌリン」の市場拡大による
供給体制の強化
- (5) 稼働開始時期
2027年7月（予定）

5

トピックス ～新規事業所開設計画（静岡県島田市）～

島田事業所
イメージ図



事業所名称	: フジ日本株式会社島田事業所	【取得日程】	
所在地	: 島田市横井四丁目5809番地4	取締役会決議日	: 2026年2月27日
資産の内容	: 土地及び建物、工具器具備品	事業所用地取得完了	: 2026年3月31日
取得価額総額	: 36億円（予定）	工事契約締結時期	: 2026年4月
取得資金	: 自己資金及び金融機関からの借入	工事完了時期	: 2027年5月（予定）

 フジ日本株式会社

MAKE THE WORLD POWERFUL with food science

-食を科学し世界をパワフルに-

～ご清聴ありがとうございました～

本資料の取り扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。

IRに関するお問い合わせ

フジ日本株式会社 企画管理部

TEL 03-3667-7811

<https://www.fuji-nihon.com/>